

特集 広島市の夢の実現に 着実に近づけていく

令和3年度当初予算

令和3年度の当初予算が決まりました。従来から取り組んでいるまちづくりのための施策を着実に進めながら、感染症対策など直面する課題への対応にもしっかり取り組む予算としました。そのポイントや主な事業を紹介します。 図財政課(☎504-2075、☎504-2099)



一般会計は過去最大を更新

般会計の総額は、前年度当初予算より4.2%増で2年ぶりのプラス予算となり、政令指定都市移行後、過去最大を更新しました。主な要因は、満期一括償還債の元金償還の増などに伴う公債費や、事業の進捗に伴う普通建設事業費が増えたことなどです。 特別会計は、公債管理特別会計の増などにより、対前年度3.0%の増、企業会計は、水道事業会計の減などにより、対前年度0.6%の減となりました。 全ての会計を合わせると、対前年度3.2%の増で、2年ぶりに増加しました。

予算の規模

一般会計 ^{*1}	6837億 2457万円
(対前年度)	4.2%増↑
特別会計 ^{*2}	4369億 627万円
(同)	3.0%増↑
企業会計 ^{*3}	1474億 7683万円
(同)	0.6%減↓
全会計	1兆 2681億 767万円
(同)	3.2%増↑

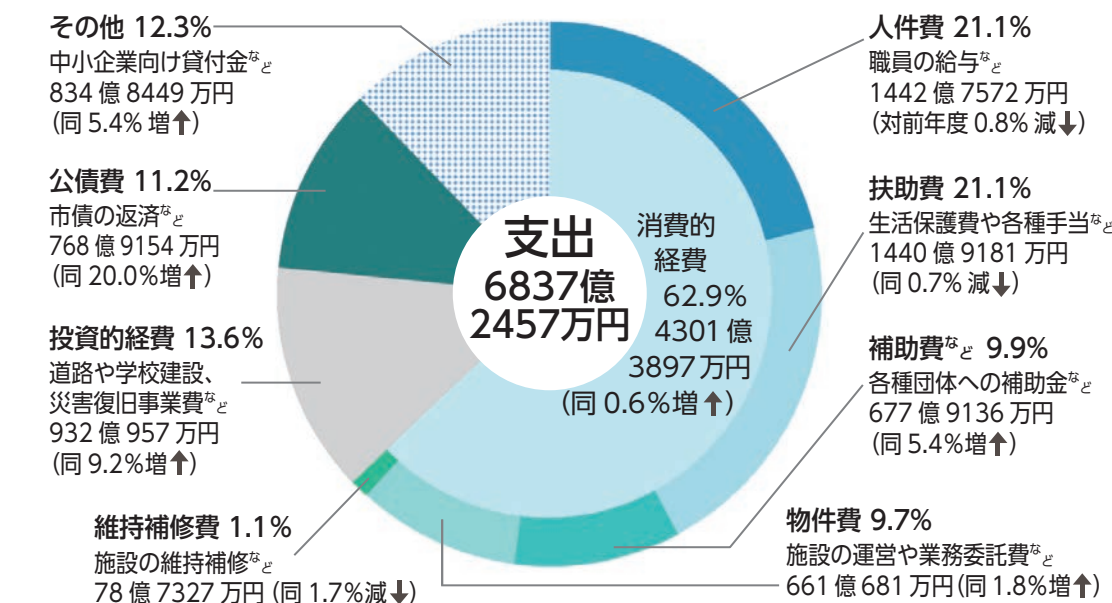
※1「一般会計」の当初予算額には、参議院議員選挙の実施に関する補正予算額を含みます ※2「特別会計」は、保険料などの特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。市には、国民健康保険や介護保険など19の特別会計があります ※3「企業会計」は、民間企業と同じように、主にサービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。市には、水道、下水道、安芸市民病院の3つの企業会計があります

新型コロナウイルス感染症対策

昨年来、世界的に新型コロナウイルスが感染拡大する中、本市においては、数度の補正予算措置を講じ、感染拡大の防止と経済活動の活性化を両立させながら、市民の安全・安心を守るための取り組みを進めてきました。 今年度予算は、これまで行ってきた感染症対策の成果などを踏まえ、切れ目なく万全の対策を講じることとし、国の財源を活用して、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体的に編成しました。

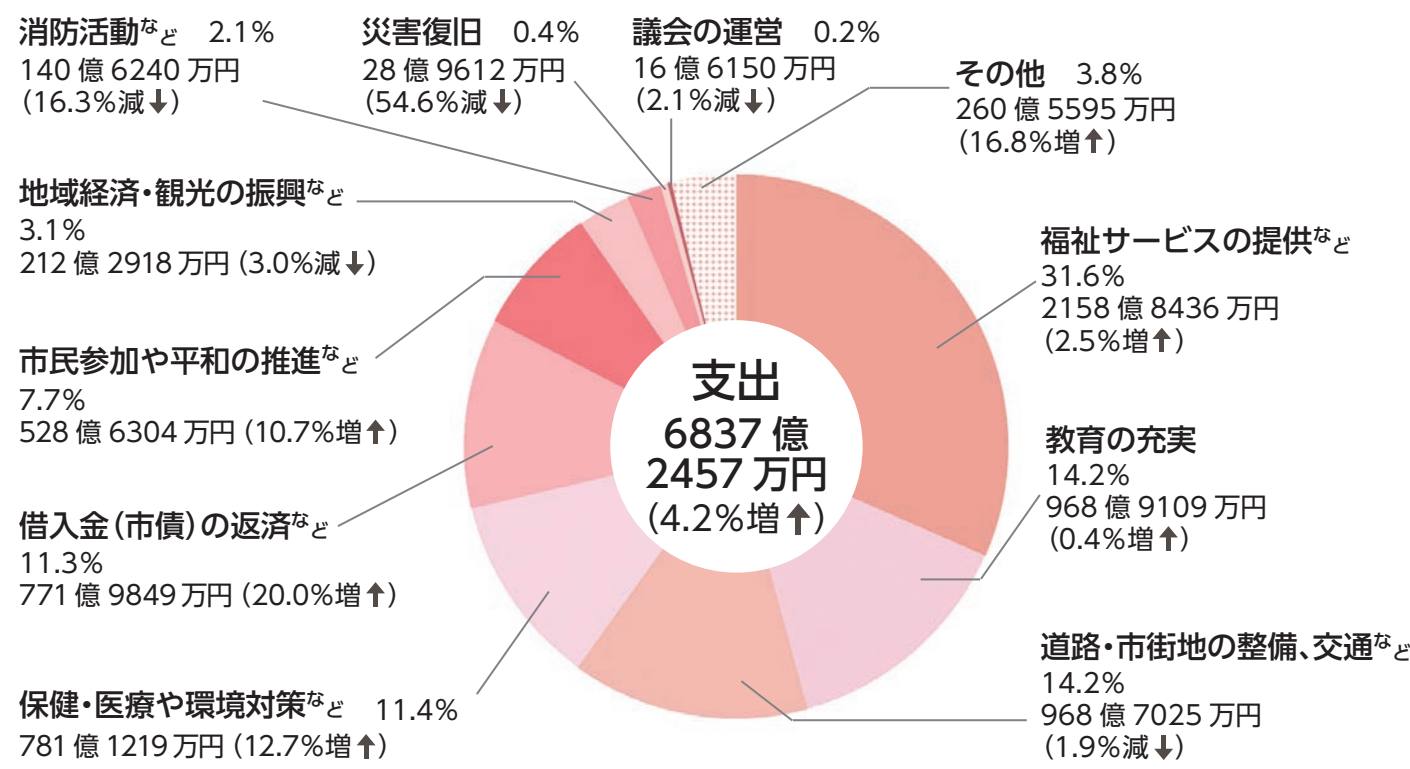
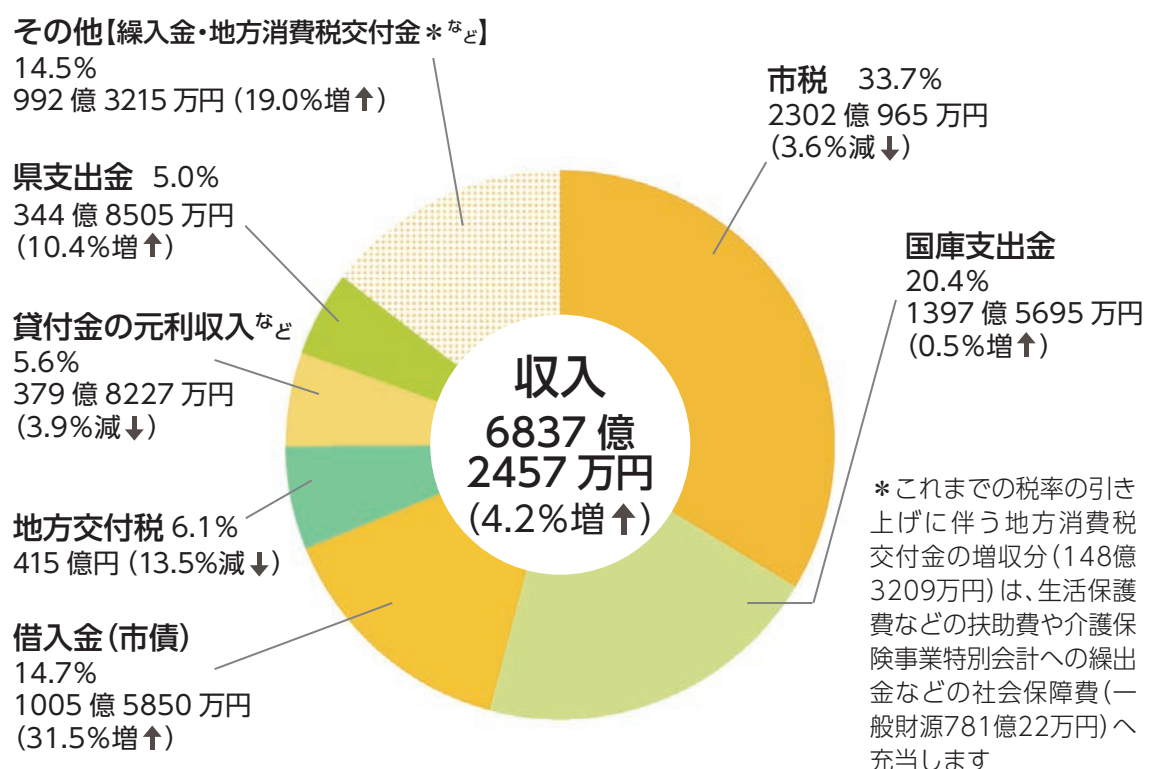
- 【令和3年度当初予算の主な施策】
- 介護サービス等継続支援事業……………2,912万円
 - 医療機関等を支援するための医療資材の購入…3,235万円
 - 妊娠・出産包括支援事業に係る利用者負担額の本市負担……………382万円
 - スクール・サポート・スタッフの配置……………2億5115万円

性質別に見た広島市の支出



一般会計の内訳

予算額の内訳と構成比。()は対前年度増減率



市民一人当たり換算すると予算約57万2600円

(対前年度2万3500円増↑)

一般会計予算6837億2457万円を市の人口119万4094人(令和3年2月末)で割って計算しました。100円未満は端数処理しています。

項目	予算額	対前年度
福祉サービスの提供	約18万800円	4,600円増↑
教育の充実	約8万1100円	400円増↑
道路・市街地の整備、交通	約8万1100円	1,500円減↓
保健・医療や環境対策	約6万5400円	7,400円増↑
借入金(市債)の返済	約6万4700円	1万900円増↑
市民参加や平和の推進	約4万4300円	4,300円増↑
地域経済・観光の振興	約1万7800円	500円減↓
消防活動	約1万1800円	2,300円減↓
災害復旧	約2,400円	2,900円減↓
議会の運営	約1,400円	増減なし→
その他	約2万1800円	3,100円増↑

「国際平和文化都市」の実現に向け、3つの視点に沿ったまちづくりを進めます

世界に輝く平和のまち

核兵器禁止条約の発効という世界情勢における好転の兆しが見える中、条約発効後の新しい世界を目指した施策展開の始まりの年にするために取り組んでいきます。

核兵器禁止条約の締約国会議に出席し、条約の実効性を高めるための議論を前進させるよう国連・各国政府関係者に要請するほか、核兵器禁止条約への市民などの理解が深まるよう、その意義や課題を発信するシンポジウムを開催します。

「ヒロシマの心」が広く市民社会の共感を得て、その総意となるよう、若者による平和の誓いの集いや、毎年11月を平和文化月間と定めてイベントを開催します。

- 【主な施策】
- 平和首長会議の活動展開……………1,652万円
 - 平和文化月間におけるイベントの開催……………500万円
 - 核兵器禁止条約に関するシンポジウムの開催……………363万円
 - 伝統芸能による平和発信……………200万円
 - 民有被爆建物等保存・継承事業への補助……………1,750万円
 - 旧中島地区被爆遺構の展示整備……………1億2952万円
 - ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催……………401万円

国際的に開かれた活力あるまち

昨年、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区が「特定都市再生緊急整備地域」に指定されたことから、さらなる都市機能の充実・強化を図っていきます。

広島の新たなシンボルとなるサッカースタジアムの建設や旧広島市民球場跡地イベント広場の整備などにより、中央公園とその周辺地域の活性化を図ります。また、引き続き広島駅南口広場の再整備に取り組めます。

広島高速5号線や新交通西風新都線などの交通ネットワークの整備、西広島駅北口地区や西風新都におけるまちづくり、東部地区連続立体交差事業などを着実に進めます。

中山間地・島しょ部について、引き続き、似島臨海少年自然の家の整備や戸山地域と湯来地域における連携施策を推進します。また、地域貢献人材を育成する大学などへの支援を行うなど、地域特性に応じた魅力あるまちづくりに積極的に取り組みます。

- 【主な施策】
- 中央公園の今後の活用……………6億690万円
 - サッカースタジアム建設の推進……………54億3072万円
 - 西広島駅北口地区のまちづくりの推進……………6億4743万円
 - 新交通西風新都線整備の推進……………2億1800万円
 - 広島駅南口広場の再整備等……………13億2360万円
 - 自転車走行空間整備……………1,160万円
 - 広島高速道路の整備……………26億4020万円
 - 東部地区連続立体交差事業……………6億6840万円
 - 圏域特産品の販売促進事業……………1,145万円
 - 中山間地域における中小企業の人材確保支援事業……………9,330万円
 - 新中央市場の建設……………5,141万円
 - ピースツーリズム推進事業……………525万円
 - 修学旅行誘致事業……………822万円
 - 比治山公園「平和の丘」に係る取り組みの推進……………1億3175万円
 - 似島臨海少年自然の家の整備……………2,200万円
 - 区の魅力と活力向上推進事業……………1億円
 - 地域貢献人材を育成する大学等への支援……………500万円

文化が息づき豊かな人間性を育むまち

市民が気軽に文化芸術に触れられるよう、音楽とメディア芸術を柱とした新たな総合文化芸術イベントの令和4年度の開催に向け、プレイベントを開催します。

住民同士が支え合い、持続可能な地域社会を実現するための地域コミュニティの活性化に向けたビジョンを策定します。また、地区社会福祉協議会と各種地域団体との連携強化を図るため、市社会福祉協議会に対し新たな支援を行います。

市民の医療費負担を軽減するため、子ども医療費の通院に係る補助対象年齢を小学校6年生まで拡大します。また、重度精神障害者の通院医療費を全額補助します。

- 【主な施策】
- 就職氷河期世代等に対する就労支援事業……………6,000万円
 - 音楽のあふれるまちづくり……………3,185万円
 - 総合文化芸術イベントの開催……………3,729万円
 - 広島城の魅力向上事業……………1億2833万円
 - 地域コミュニティ活性化に向けたビジョンの策定……………154万円
 - 広島市社会福祉協議会の新基金に対する出捐(寄付)……………8,560万円
 - 高齢者いきいき活動ポイント事業……………12億7751万円
 - 生活支援体制整備事業……………1億2381万円
 - 介護人材資格取得・就業促進事業……………341万円
 - 重度精神障害者通院医療費助成……………1,506万円
 - 子ども医療費補助……………22億6832万円
 - DX(デジタル・トランスフォーメーション^{*4})の推進……………5,756万円

*4…ICT(情報通信技術)の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること